

令和元年5月24日に第55回目の総会を無事に終え、今後の当組合活動に一層のご理解とご協力を賜りました事に、深く感謝申し上げます。

更に、組合活動を支えご協力いただいております、外部関係企業の皆様方に厚く御礼申し上げます。

新たなる令和時代を迎えて、昭和40年から東京都の認可を受けて、労働保険事務組合から開始した当組合事業も50年余、その後、生命保険事業や高速道路共同利用事業等の導入を手掛けて、今日に至っておりますが、その事業活動は、今後、益々厳しい曲面を迎える状況になりつつあります。

継続事業として歩むべき方向が見定まらない状況下に於いて、先ずは新たな役員による組織体制の基に、次世代へつなぐ可能性を模索、検討していきたいと願うものでございます。

当初より重んじている福利厚生事業とは、その主旨に基づく制限や制約が課せられております事から、極端な組合員の増員や事業規模の拡大は見込めず、現状維持が最大の目標となっているのが実情です。

そうした状況下であるがゆえに、組合員の皆様へは、更なるご理解とご協力と積極的なご参加を、何卒宜しくお願い申し上げます。